

2021年11月 BMX フリースタイル・ジャパンカップにおける
新型コロナウイルス感染拡大予防対策

一般社団法人 全日本フリースタイル BMX 連盟
理 事 長 出 口 智 嗣

一般社団法人 全日本フリースタイル BMX 連盟（以下、JFBF）が2021年11月に行う各種目ジャパンカップ（以下、本大会）の新型コロナウイルス感染拡大予防対策は、大会の公認を得る（公財）日本自転車競技連盟が示すガイドラインに沿って行われますが、種目特性・会場特性・開催地域への配慮等を踏まえた本大会における独自の感染拡大予防対策を下記の通り示します。

全国的な感染状況は以前より落ち着きを見せているものの、引き続き大会を継続していくためには、**コロナ禍でも安心して参加できる大会**を行なっていく必要があります。ご参加・ご来場いただく皆様にはお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

I. PCR 検査の義務

大会開催日に来場する者は、事前に PCR 検査の陰性結果を得た上で来場し、結果を提示すること。

(1) 対象

- ① 選手
- ② 選手に帯同する家族等
- ③ 大会役員・運営スタッフ
- ④ 報道
- ⑤ 関係者として会場に来場する者（大会スポンサー等）
- ⑥ **観客（パークのみ※1）**

(2) 検査種別

検査精度の観点から、抗原検査ではなく PCR 検査とする。

(3) 公平性

下記指定期間における PCR 陰性の結果を示すことができない選手およびその家族には、会場への入場・大会への出場を一切認めない。抗原検査による代替も不可とする。

(4) 検査機関・方法

任意で、各自手配とする。なお PCR 検査はクリニックで数万円かかるものから、数千円で行えるものまで様々ある。地域により条件差もあるため、事前によく調べて手配すること。インターネットでキットを購入し郵送して検査するタイプの物も使用可能。但し郵送のタイムラグ、メーカー都合の結果通知遅延等には自己責任において十分注意すること。

(5) 日時

検査結果は、大会初日(公式練習日を含む)の0時から起算して72時間以内のものを有効とする。**すなわち、パークは11月9日(火)以降、フラットランドは11月17日(水)以降の日付を有効とする。**それ以前の検査結果は本大会への参加条件としては無効である。

(6) 回数

陰性の確認は、来場初日の1回のみ。会期中毎日の検査は求めないが、検査後は感染リスクの高い行動を避けるよう特に意識して行動すること。

(7) 結果の申告

指定フォームより検査結果が陰性であったこと申告するとともに、結果を示す書類の添付を必須とする。書類では、【検査機関・氏名・検査日・結果(陰性)】を示すこと^{※2}。通知メールやログイン画面のスクリーンショット等も可能とする。陰性証明書は必須ではない。

(8) 陽性の場合

陽性の場合には大会への参加、会場への入場はできない。陽性通知をうけた後は、接触する人を最小限に減らした上で地域の保健所・医療機関へ連絡し指示を仰ぐなど、適切に対応する。

(9) 検査費の補助

出場選手および帯同する保護者等の検査費用は各自負担とするが、一選手につき一律で実質2000円の補助を行う。(エントリー費を従来比で2000円減額)

※1 会場特性を考慮し、パークのみ観客も全員PCR検査を必須とする。

フラットランド 会場では観客のPCR検査を必須としない。

※2 検査機関により上記の確認が難しい場合(登録の電話番号にショートメールで通知がくる等)の場合は、事前にJFBFに申告方法を相談すること。

II. 入場制限

各種目とも有観客での開催とするが、会場特性に応じて密集が生まれないように入場制限や誘導・ゾーニングを行う。入場人数管理・事前登録の仕組みは種目ごとに検討・実施する。

III. 選手・保護者・大会関係者の注意事項

1. 大会直近 2 週間の検温と行動記録を行い、主催者から求められた場合は指定された方法により速やかに提出する。
2. 体調が優れない場合（発熱や風邪の症状などを含む）や、陽性者との濃厚接触者と判断された場合には大会会場へ来場しない。
3. 会場内では常にマスクを着用する。ただし選手は競技中に限りマスクを着用しなくてよい。
4. 食事の際は、黙食・個食を心がけ、向かい合って食べないこと、喋りながら長時間かけて食べないことに注意する。
5. 気温等により、熱中症の予防に努める。
厚生労働省「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_coronanettyuu.html
6. 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をダウンロードする。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
7. 応援はソーシャルディスタンスを保って行う。飛沫が飛び散る大声での声援や、ハグ・肩くみなど他者と密着する行為は行わない。ただし家族はソーシャルディスタンスの対象としない。
8. 会場内および会場周辺での飲酒・喫煙は一切禁止とする。必要に応じて喫煙所を設ける場合は、換気や会話制限などの感染予防対策を講じる。
9. その他の感染リスクの高い行動も、大会中は特に慎む。

IV. 競技会について

1. 練習走行
 - (1) 選手は、他選手との会話を控え、適度に距離を保つ。
2. 出場待機
 - (1) 1 グループの人数が 1 m 以上の間隔をあけて待機できる場所（待機エリア）を確保し、選手は 1 m 以上空けて待機する。
 - (2) 待機エリアに消毒液を設置し、集合した選手は手指を消毒する。
 - (3) ハグ、肩くみなど他者と密着する行為は控える。
3. 出走後
 - (1) 出番が終了したら、速やかに待機エリアから退出する。
 - (2) 待機エリアから退出するタイミングで、マスクを着用する。
4. 表彰式
 - (1) クラス別を実施するなど密集回避に努めたスケジューリングを行う。
 - (2) 待機する者や表彰式を観覧する者は必ずマスクを着用し、他者と 1 m 程度の間隔をとって観覧すること。ただし表彰を受ける者は、登壇中はマスクを外しても良い。

V. 救護

1. 発熱等の体調不良者が出た場合には、保健所への連絡、医療機関の受診及び自宅やホテルでの待機を求める。移動が必要な場合には、公共交通機械を使用しないなど手段に留意する。
2. 救護にあたる場合は特定のスタッフが対応し、スタッフは必ずマスクやフェイスシールドを着用する。

VI. 主催者の入場者管理

1. 事前登録制の来場管理等により、来場者のメールアドレスを把握する。
2. 入口で検温（非接触体温計でスタッフが検温）を行う。37度以上の場合、体調不良がないかを口頭で確認、37.5度以上で入場不可とする。
3. 入場時のマスク着用を必須とする。
4. 消毒液を設置し、手指消毒を促す。
5. 入場者と退場者が密集しないよう導線を工夫する。

VII. 主催者の会場づくり

1. 誘導スタッフの配置や導線の工夫により、密集が生まれないよう工夫する。
2. 会場内（入口以外）に1箇所以上、消毒液を設置する。
3. トイレのドア、てすりなど不特定多数が触れる場所は、1時間に1回程度、消毒液で拭く。
4. 観覧スペースでは、椅子等の間隔を前後それぞれ1m程度設ける。
5. 会場のキャパシティを超えた場合、入場制限を行う。
6. 水分補給や軽食、熱中症回避等により一時的にマスクを外すことは問題ないが、その間は他者と密接しない、大声を出さない等の配慮を求める。他者と密集した状態での飲食は避けるよう促す。
7. 主催者の定める予防対策が遵守されない場合は、会場から退場させることができる。

更新日：2021年10月31日